



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 株式会社プレミアムウォーターホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2588 URL <https://premiumwater-hd.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）萩尾 陽平
問合せ先責任者（役職名）上級執行役員経営管理本部長（氏名）清水 利昭（TEL）03(6864)0980
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	62,016	7.8	7,249	19.5	6,329	17.1	3,760	6.8	3,760	6.8	6,198	77.6
2023年3月期第3四半期	57,526	13.5	6,067	23.8	5,403	22.6	3,522	30.1	3,522	30.1	3,489	22.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	127.11	122.85
2023年3月期第3四半期	118.59	113.71

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	92,870	20,565	20,548	22.1
2023年3月期	86,872	19,640	19,623	22.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	11.00	—	49.00	60.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益	基本的1株当たり当期 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	80,000	4.6	9,000	22.5	5,000	△17.5
						168.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	29,652,382株	2023年3月期	29,570,192株
2024年3月期3Q	34,143株	2023年3月期	34,143株
2024年3月期3Q	29,586,917株	2023年3月期3Q	29,345,846株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流増加等により、回復の兆しが見られました。一方、緊迫した世界情勢や金融資本市場の変動リスク、資源価格や原材料価格の高騰によるインフレ圧力により、先行きは不透明な状態となっております。こうした状況下、在宅時間の長期化や内食需要の高まりは続いており、消費者の生活様式や価値観の変化に伴い、生活必需品を中心とした個人消費は引き続き好調な状況となっております。当社グループにおいても、「冷温水が簡単に利用できる」、「日本の良質な天然水が定期的に自宅まで配達される」といった利便性や安全性等によって、宅配水（ウォーターサーバー）への認知度が高まり、当社グループの事業環境へ好影響を及ぼしております。宅配水業界においても、宅配水事業の需要が今後も見込まれることから、異業種参入も見られる等、活況を呈しています。当社グループは同業界最大手として、宅配水市場拡大を引き続き牽引できるよう努めてまいります。

また、当社グループでは、お客様に安心・安全で高品質な飲料水を安定的に提供できる体制の構築に努めてまいりました。さらに、当社グループでは、脱炭素社会を目指すことをはじめとする環境保全と利益創出の同時実現をビジョンの一つと捉え、天然水という日本の資源を継続的に守り、これを育むための取組みを行っております。そして、水資源を使用する者の責任として、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて取組み範囲を拡大させ、積極的に社会的責任を果たすことに努めております。

当第3四半期連結累計期間においては、新規顧客の獲得に関してデモンストレーション販売の実施やテレマーケティング・WEBによる営業活動を積極的に展開した結果、順調に推移いたしました。さらに、お客様からのお問合せサービスの対応強化等、既存顧客の継続率向上につながる様々な施策を進めた結果、売上収益は62,016百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

営業利益については、成長投資としての人員拡大等による人件費の増加や顧客獲得にかかる費用の増加等が引き続き利益圧迫の要因となっておりますが、第2四半期に引き続きコストの見直しや物流費の抑制及び子会社株式の売却による収入があったことにより大きく改善し、7,249百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

なお、税引前四半期利益は6,329百万円(前年同期比17.1%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,760百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

資産は前連結会計年度末に比べて5,997百万円増加し、92,870百万円となりました。これは、主に営業債権及びその他の債権、有形固定資産が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べて5,072百万円増加し、72,305百万円となりました。これは、主に営業債務及びその他の債務、非流動負債の有利子負債が増加したことによるものであります。

(資本)

資本は前連結会計年度末に比べて924百万円増加し、20,565百万円となりました。これは、主に利益剰余金、その他の包括利益累計額が増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は25,457百万円と前連結会計年度末（25,737百万円）に比べて280百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は15,679百万円(前第3四半期連結累計期間は10,136百万円の獲得)となりました。これは、主に営業債務及びその他の債務の増加、法人税の還付があったことによる増加であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は4,360百万円(前第3四半期連結累計期間は2,547百万円の支出)となりました。これは、主に関係会社株式の取得による支出、投資有価証券の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に支出した資金は11,619百万円(前第3四半期連結累計期間は2,771百万円の支出)となりました。これは、主に有利子負債の返済、自己株式の取得による支出が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の実績及び足元の業績動向を踏まえ、2023年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2024年2月8日)公表いたしました「2024年3月期通期業績予想(IFRS)の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	25,737	25,457
営業債権及びその他の債権	8,580	11,035
棚卸資産	1,692	1,205
その他の金融資産	860	654
その他の流動資産	3,691	835
流動資産合計	40,562	39,187
非流動資産		
有形固定資産	25,567	28,889
のれん	75	75
無形資産	2,411	2,582
持分法で会計処理されている投資	970	3,960
その他の金融資産	1,745	4,648
繰延税金資産	4,047	2,300
契約コスト	11,488	11,224
その他の非流動資産	2	0
非流動資産合計	46,310	53,682
資産合計	86,872	92,870

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	10,762	13,221
有利子負債	14,296	11,247
未払法人所得税	699	2,139
その他の流動負債	1,853	940
流動負債合計	27,612	27,548
非流動負債		
有利子負債	39,276	44,412
引当金	130	110
その他の非流動負債	212	233
非流動負債合計	39,619	44,756
負債合計	67,232	72,305
資本		
資本金	4,584	4,612
資本剰余金	4,095	4,156
利益剰余金	10,962	11,757
自己株式	△80	△80
その他の包括利益累計額	62	102
親会社の所有者に帰属する持分合計	19,623	20,548
非支配持分	16	16
資本合計	19,640	20,565
負債及び資本合計	86,872	92,870

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	57,526	62,016
売上原価	8,714	10,734
売上総利益	48,812	51,281
その他の収益	48	874
販売費及び一般管理費	42,788	44,844
その他の費用	4	61
営業利益	6,067	7,249
金融収益	42	70
金融費用	689	743
持分法による投資損益(△は損失)	△16	△247
税引前四半期利益	5,403	6,329
法人所得税費用	1,881	2,568
四半期利益	3,522	3,760
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,522	3,760
非支配持分	△0	△0
四半期利益	3,522	3,760
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	118.59	127.11
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	113.71	122.85

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	19,338	20,502
売上原価	2,908	3,558
売上総利益	16,429	16,943
その他の収益	17	819
販売費及び一般管理費	14,118	14,335
その他の費用	2	38
営業利益	2,326	3,388
金融収益	△16	10
金融費用	248	241
持分法による投資損益(△は損失)	1	△77
税引前四半期利益	2,062	3,080
法人所得税費用	678	1,371
四半期利益	1,383	1,709
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,383	1,709
非支配持分	0	0
四半期利益	1,383	1,709
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	46.58	57.73
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	44.92	56.00

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	3,522	3,760
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の公正価値の純変動額	△14	2,447
純損益に振り替えられることのない項目合計	△14	2,447
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	8	1
在外営業活動体の換算差額	△26	△11
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△18	△9
税引後その他の包括利益	△32	2,437
四半期包括利益	3,489	6,198
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,489	6,198
非支配持分	△0	△0
四半期包括利益	3,489	6,198

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	1,383	1,709
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の公正価値の純変動額	△11	△71
純損益に振り替えられることのない項目合計	△11	△71
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	4	0
在外営業活動体の換算差額	5	3
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	10	3
税引後その他の包括利益	△1	△68
四半期包括利益	1,382	1,641
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,382	1,641
非支配持分	0	0
四半期包括利益	1,382	1,641

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額			
2022年4月1日	4,450	3,935	5,985	△80	△9	14,281	16	14,297
四半期包括利益								
四半期利益	-	-	3,522	-	-	3,522	△0	3,522
その他の包括利益	-	-	-	-	△32	△32	-	△32
四半期包括利益合計	-	-	3,522	-	△32	3,489	△0	3,489
所有者との取引額等								
剰余金の配当	-	-	△1,063	-	-	△1,063	-	△1,063
自己株式の取得	-	-	-	△0	-	△0	-	△0
新株の発行（新株 予約権の行使）	72	33	-	-	-	106	-	106
株式報酬取引	-	71	-	-	-	71	-	71
その他	-	-	△16	-	-	△16	-	△16
所有者との取引額等 合計	72	105	△1,080	△0	-	△902	-	△902
2022年12月31日	4,522	4,040	8,426	△80	△41	16,868	16	16,884

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額			
2023年4月1日	4,584	4,095	10,962	△80	62	19,623	16	19,640
四半期包括利益								
四半期利益	-	-	3,760	-	-	3,760	△0	3,760
その他の包括利益	-	-	-	-	2,437	2,437	-	2,437
四半期包括利益合計	-	-	3,760	-	2,437	6,198	△0	6,198
所有者との取引額等								
剰余金の配当	-	-	△2,539	-	-	△2,539	-	△2,539
自己株式の取得	-	-	-	△2,823	-	△2,823	-	△2,823
自己株式の消却	-	-	△2,823	2,823	-	-	-	-
新株の発行（新株 予約権の行使）	28	19	-	-	-	47	-	47
株式報酬取引	-	41	-	-	-	41	-	41
利益剰余金への振 替	-	-	2,397	-	△2,397	-	-	-
所有者との取引額等 合計	28	61	△2,965	-	△2,397	△5,273	-	△5,273
2023年12月31日	4,612	4,156	11,757	△80	102	20,548	16	20,565

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	5,403	6,329
減価償却費及び償却費	7,078	7,899
金融収益	△42	△70
金融費用	689	743
持分法による投資損益(△は益)	16	247
契約コストの増減額(△は増加)	△143	△180
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△590	△3,156
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	324	3,929
棚卸資産の増減額(△は増加)	63	309
子会社の支配喪失に伴う利益	-	△797
その他	459	△359
小計	13,260	14,894
利息の受取額	2	35
利息の支払額	△783	△616
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△2,343	1,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,136	15,679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△3,528	△3,985
関係会社株式の取得による支出	△190	△3,399
投資有価証券の取得による支出	-	△2,139
投資有価証券の売却による収入	-	3,456
子会社の支配喪失による収支(△は支出)	-	1,867
貸付けによる支出	△2	△372
貸付金の回収による収入	22	15
敷金及び保証金の差入による支出	△51	△9
敷金及び保証金の返還による収入	1,201	205
その他	0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,547	△4,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期有利子負債の収入	5,110	7,458
長期有利子負債の支出	△6,967	△13,767
自己株式の取得による支出	△0	△2,823
配当金の支払額	△1,019	△2,533
新株予約権の行使による収入	106	47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,771	△11,619
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,831	△280
現金及び現金同等物の期首残高	20,322	25,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,154	25,457

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、ナチュラルミネラルウォーターの製造及び宅配形式による販売が主要な事業内容であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、報告セグメントは単一となっております。

② 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の項目の金額の算定方法

単一セグメントのため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは、2023年12月8日にエフェルシープレミアム株式会社がINEST株式会社に対して増資を行い、また、2023年12月27日にエフェルシープレミアム株式会社が当社の保有するエフェルシープレミアム株式会社の全株式を自己株式として取得したことにより、当社グループはエフェルシープレミアム株式会社に対する支配を喪失しております。

エフェルシープレミアム株式会社に関する支配喪失時の資産及び負債の主な内訳ならびに受取対価と同社の支配喪失による収支の関係は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

項目	金額
流動資産	1,303
非流動資産	535
流動負債	813
非流動負債	400
受取対価	2,000
支配喪失時の資産の内、現金及び現金同等物	378
差引：子会社の支配喪失による収支(△は支出)	1,621

エフェルシープレミアム株式会社の支配喪失に伴って認識した利益は797百万円であり、要約四半期連結損益計算書上、「その他の収益」に計上しております。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり四半期利益及び算定上の基礎、希薄化後1株当たり四半期利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
(1) 基本的1株当たり四半期利益	118円59銭	127円11銭
(算定上の基礎)		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	3,522	3,760
親会社の普通株主に帰属しない金額(百万円) 資本に分類される優先株式への配当(百万円)	42	—
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる 金額(百万円)	3,480	3,760
普通株式の加重平均株式数(千株)	29,345	29,586
(2) 希薄化後1株当たり四半期利益	113円71銭	122円85銭
(算定上の基礎)		
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる 金額(百万円)	3,480	3,760
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる 金額(百万円)	3,480	3,760
普通株式の加重平均株式数(千株)	29,345	29,586
新株予約権による普通株式増加数(千株)	1,260	1,028
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる 普通株式の加重平均株式数(千株)	30,606	30,614

(重要な後発事象)

(国内無担保普通社債の発行)

当社は、2024年2月8日付で募集社債の発行に関する取締役会決議（包括決議）を行いました。その概要は以下のとおりであります。

(1) 発行総額

100億円以内

(ただし、1回又は複数回に分けて発行することができる。)

(2) 払込金額

各社債の金額100円につき100円

(3) 償還期限

5年以内

(4) 利率の上限

年2.1%以下

(5) 発行時期

2024年2月9日から2024年3月31日まで

(ただし、2024年3月31日当日までに募集が行われた場合については、発行時期に含まれるものとする。)

(6) 償還方法

満期一括償還

(ただし、発行後の買入消却を可能とする。)

(7) 資金使途

設備資金、投融資資金、社債の償還資金、借入金・リース債務の返済資金及び運転資金

(8) その他

会社法第676条各号に掲げる事項及びその他社債発行に関して必要な一切の事項の決定は、上記の範囲内において、代表取締役CF0に一任する。